

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(4/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
アジアヘッド クォーター特区 (東京都)	正	B 4.4	A 4.5 進捗度 ・多国籍企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 220.0% ・外国人のビジネス・生活環境施設の整備 100% 等	C 3.4 規制の特例等 ・ビジネスジェットの使用手続簡略化 等 地域独自の取組 ・税制のインセンティブ(法人事業税などの軽減) 等	+0.43	<p>・自律性の高いプロジェクト(※1)が多く、高く評価できる。</p> <p>・海外企業誘致の実績が、誘致数でも提供するインフラやサービスの内容でも目標を若干上回るペースで出現(※2)し始めている。今後は専門サービスや教育環境のさらなる充実が期待される。</p> <p>・アジアヘッドクォーターとしての活動ビジョンをより明確に打ち出すことが望ましい。</p> <p>(※1)本特区では、グローバル企業の統括拠点及び研究開発拠点を誘致するため、①誘致・ビジネス交流事業、②ビジネス支援事業、③生活環境整備事業、④BCP(事業継続計画)を確保したビジネス環境整備事業の4つのプロジェクトに取り組んでいる。</p> <p>(※2)多国籍企業の誘致件数が、5社の目標(平成25年度)に対し11社の実績(進捗度220.0%)となっているほか、外国企業からの相談件数は1,050件の目標に対し2,945件(進捗度280.5%)に上っている。また、都市開発プロジェクト件数や外国人のビジネス・生活環境整備でも目標を達成している。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。